

IASB ワークプランの状況

IASB 客員研究員 ふじわら ゆき
藤原 由紀

はじめに

すでに皆様ご存知かと思いますが、国際会計基準審議会（IASB）は2018年3月29日に「財務報告に関する概念フレームワーク」（概念フレームワーク）の改訂版を公表しました。私も赴任以来、丸1年取り組んできたプロジェクトの成果ですので、とても嬉しく思っています。公表当日はボードメンバーやスタッフから多くのお祝いメールをいただき、オフィスも祝賀ムードでした。

さて、IASBにとって非常に重要であった概念フレームワークプロジェクトが無事完了したこのタイミングで、現在のIASBワークプラン（作業計画）の状況についてご紹介したいと思います。詳細は以下で述べますが、概念フレームワークの完了を待っていたプロジェクトをはじめ、いくつかのプロジェクトがすでに開始、あるいは開始されることが決定しています。なお、本稿における意見にわたる部分はすべて個人的見解であることをあらかじめお断りします。

2017-2021年ワークプランの主要テーマ

IASBがどのようなプロジェクトに取り組むかは、主としてAgenda Consultation（アジェンダ協議）という手続を経て決められます。この手続において、IFRS財団は、IASBがこの先数年間に取り組むプロジェクトについて、広く利害関係者の意見を募ります。その上で、テーマの緊急度や重要度、IASBのリソース等を考慮して、ワークプランを作成します。アジェンダ協議は5年に1度実施されることとなっており、最近では2015年に実施され、2017-2021年ワークプラン（2015年アジェンダ協議のフィードバックステートメント）が公表されました¹。なおワークプランは各プロジェクトの進捗状況や新たなトピックの識別等の状況変化に応じて随時更新され、IASBのウェブページで最新版が公開されています²。

2017-2021年ワークプラン（2015年アジェンダ協議のフィードバックステートメント）では、プロジェクトの中から特に以下の4つを今後5年間のテーマとして取り上げていました。

1 2017-2021年ワークプラン（2015年アジェンダ協議のフィードバックステートメント）の日本語訳は企業会計基準委員会（ASBJ）の以下のウェブページからダウンロード可能です。https://www.asbj.or.jp/jp/ifrs/press_release/y2016/2016-1208-2.html

2 <http://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

1. 基準設定プロジェクトの完了
2. 財務報告におけるコミュニケーションの改善
3. 適用支援の継続的な開発
4. 焦点をより絞ったリサーチ・プログラム

以下ではこのうち 1. 2. について概要を説明します。

1. 基準設定プロジェクトの完了

2017-2021 年ワークプランで識別された基準設定プロジェクト³並びにその 2016 年 10 月時点（2017-2021 年ワークプランの公表時）及び 2018 年 4 月時点（本稿執筆時）での状況の概要は以下のとおりです。

(表 1) 識別された基準設定プロジェクト

プロジェクト	2016 年 10 月時点の状況	2018 年 4 月時点の状況
概念フレームワーク	2017 年前半に完了予定	2018 年 3 月に完了
保険契約 (IFRS 第 17 号)	2017 年前半に完了予定	2017 年 5 月に完了
重要性 (実務記述書第 2 号)	2017 年前半に完了予定	2017 年 9 月に完了
料金規制対象活動	開発中	開発中 2019 年前半にディスカッション・ペーパーまたは公開草案を公表予定

表 1 に示されているとおり、2017-2021 年ワークプランで識別された 4 つの基準設定プロジェクトのうち 3 つは、一部スケジュールに多少の遅れはあるものの、すでに完了していま

す。概念フレームワーク及び保険契約については、今後引き続き公表後のサポート活動が予定されています。

2. 財務報告におけるコミュニケーションの改善

2017-2021 年ワークプランで識別された、財務報告におけるコミュニケーションの改善 (Better Communication) に関するプロジェクト並びにその 2016 年 10 月及び 2018 年 4 月時点での状況の概要は以下のとおりです。

(表 2) 財務報告におけるコミュニケーションの改善

プロジェクト	2016 年 10 月時点の状況	2018 年 4 月時点の状況
基本財務諸表	開発中	開発中 2019 年前半にディスカッション・ペーパーまたは公開草案を公表予定
開示に関する取組み—開示原則	開発中 2017 年前半にディスカッション・ペーパーを公表予定	開発中 2017 年 3 月にディスカッション・ペーパーを公表
開示に関する取組み—重要性 (実務記述書第 2 号)	2017 年前半に完了予定	2017 年 9 月に完了
IFRS タクソノミ	随時アップデート	随時アップデート

財務報告におけるコミュニケーションの改善

3 基準設定プロジェクトとは、新基準または既存の基準の大幅な修正につながることを意図したプロジェクトのことで、ここでの「基準」は「概念フレームワーク」や実務記述書などのほかの重要文書を含む用語として使用されています。

は現在の IASB の主要なテーマの 1 つであり、表 2 に示されているとおり、基本財務諸表プロジェクト及び開示原則プロジェクトに関する審議が続いています。

個別プロジェクトの状況

以下では上記で取り上げなかった個別プロジェクトのうち、リサーチ・プログラム（ワークプラン内）及びリサーチ・パイプライン（ワークプラン外）に分類されるものの中から、日本の皆様にも関心が高いと思われるものを中心に 2016 年 10 月時点及び 2018 年 4 月時点の状況を説明します。なおリサーチ・パイプラインとは、2017-2021 年ワークプラン公表時に、その性質（別のプロジェクトの進捗状況に左右される）または優先度からすぐには作業を開始しないが、2021 年までの期間で作業を実施するとされたプロジェクトです。正式に作業が開始されると、当該プロジェクトはワークプランに含まれることとなります。以下に記載されていないその他のプロジェクトの概要や状況については、IASB ウェブページ及び 2017-2021 年ワークプラン（2015 年アジェンダ協議のフィードバックステートメント）をご参照ください。

(表 3) 主要なリサーチ・プログラム

プロジェクト	2016 年 10 月時点の状況	2018 年 4 月時点の状況
のれんと減損	開発中	開発中 2018 年後半にディスカッション・ペーパーまたは公開草案を公表予定

共通支配下の企業結合	開発中	開発中 2019 年前半にディスカッション・ペーパーを公表予定
資本の特徴を有する金融商品 (FICE)	開発中	開発中 2018 年 6 月にディスカッション・ペーパーを公表予定
動的リスク管理	開発中	開発中

(表 4) 主要なリサーチ・パイプライン

プロジェクト	2016 年 10 月時点の状況	2018 年 4 月時点の状況
持分法	2021 年までに作業実施予定	2019 年または 2020 年の初期に作業着手予定 (IFRS 第 11 号の適用後レビュー後を予定)
採掘活動 (IFRS 第 6 号)	2021 年までに作業実施予定	関連する各国の基準設定主体への状況のアップデートの依頼を速やかに開始する予定
排出物価格決定メカニズム	2021 年までに作業実施予定	2019 年または 2020 年の初期に作業着手予定
引当金 (IAS 第 37 号、IFRIC 第 21 号)	当初リサーチはおおむね完了 2021 年までに作業実施予定	残りのリサーチを可及的速やかに開始することを決定

変動対価及び条件付対価	2021年までに作業実施予定	リサーチの範囲の決定のための予備的検討を速やかに開始する予定
退職後給付(年金を含む)(IAS第19号)	対象は実行可能性の検討のみ 2021年までに作業実施予定	資産に対するリターンに依存する年金給付に関するリサーチを速やかに開始する予定

また、IASBは2017年11月に、以下の基準設定プロジェクトをワークプランに加えることを決定しました。

(表5) 新規基準設定プロジェクト

プロジェクト	2016年10月時点の状況	2018年4月時点の状況
経営者による説明(実務記述書第1号)	—	開発中 諮問グループを組成中

おわりに

2014年のIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」及びIFRS第9号「金融商品」の公表、2016年のIFRS第16号「リース」の公表、そして2017年のIFRS第17号「保険契約」及び概念フレームワークの公表を完了し、IASBの活動も新たなステージに入ったように感じます。私自身も、2年間の赴任期間の折返し期間を迎え、また1年間担当してきた概念フレームワークプロジェクトも無事完了を迎えたことで、心機一転新たなプロジェクトに取り組んでいきたいと思っています。残りの期間もIASBの雰囲気やプロジェクトの状況を少しでもよく伝えられるような記事をお届けしたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。